

5 . 日常における環境保全行動への実感（問5）

5 - 1 環境に対する良い行動の頻度

日常、環境に対して良い行動をとっている人は62%を占め、行っていない人の1.8倍にのぼる。特に60代以上の高年層が積極的に行動している。

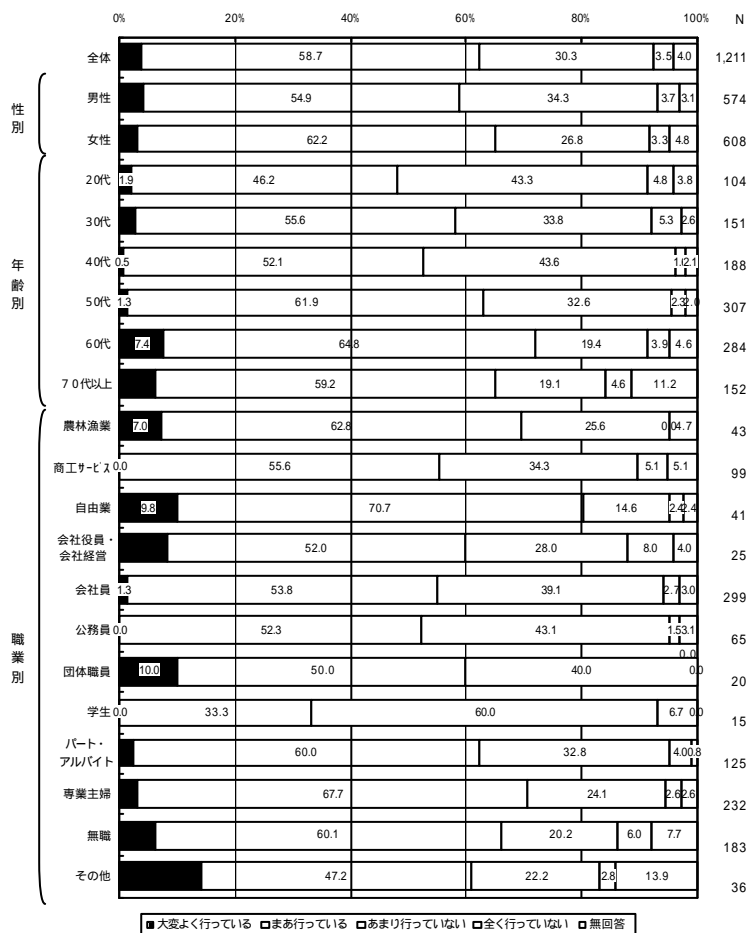
日常生活の中で環境に対する良い行動を「行っている」人は「大変よく行っている」（4%）と「まあ行っている」の合計で62%を占め、「行っていない」人（「あまり行っていない」30%と「全く行っていない」4%の合計34%）の1.8倍にのぼる。

性別にみると、実行率（「行っている」の比率）は男性59%、女性65%で女性の方がやや高い。

年齢別にみると、60代の実行率が72%で最も高く、これに70代以上（65%）が続く。これらに比べると、20代の実行率は48%と低い。

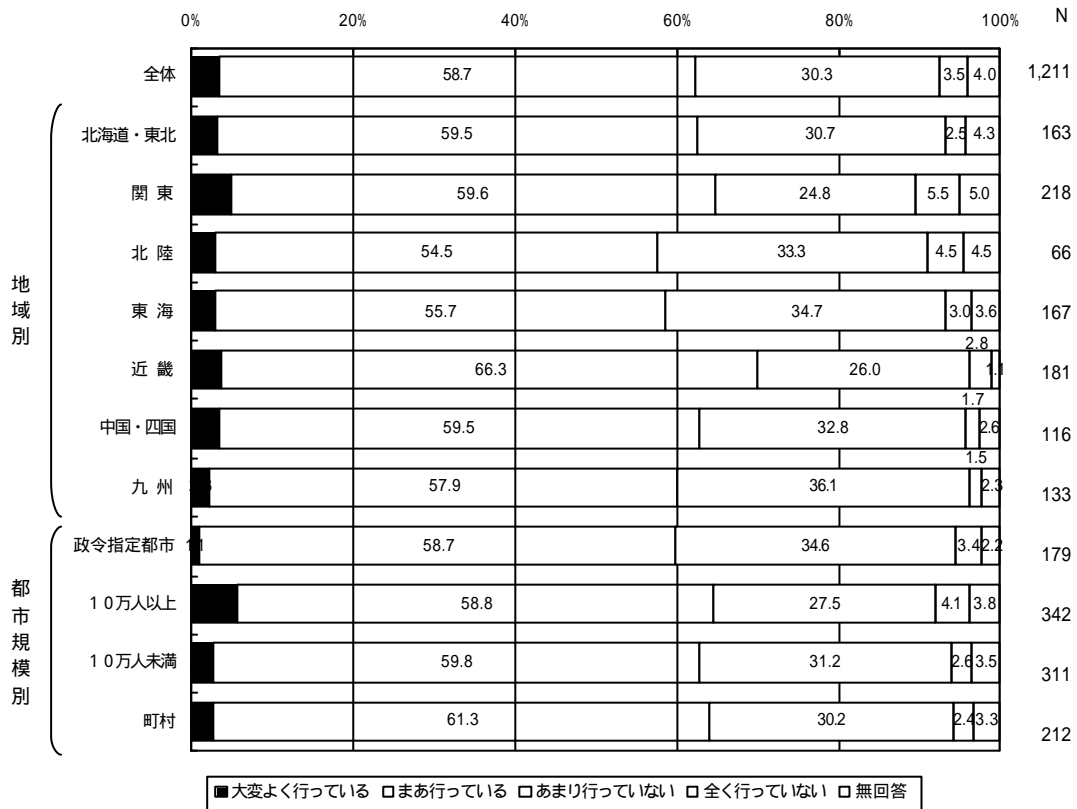
職業別では、自由業の実行率が81%と特に高いほか、農林漁業、専業主婦の実行率も70%前後にのぼる。しかし、学生の実行率は33%と顕著に低い。

【図表 5-1-1】環境に対する良い行動の頻度（性別、年齢別、職業別）



地域別にみると、近畿の実行率は70%と高いが、北陸、東海の実行率は57%にとどまる。都市規模別には顕著な差はない。

【図表 5-1-2】環境に対する良い行動の頻度（地域別、都市規模別）



5 - 2 環境に対する良い行動の有用性

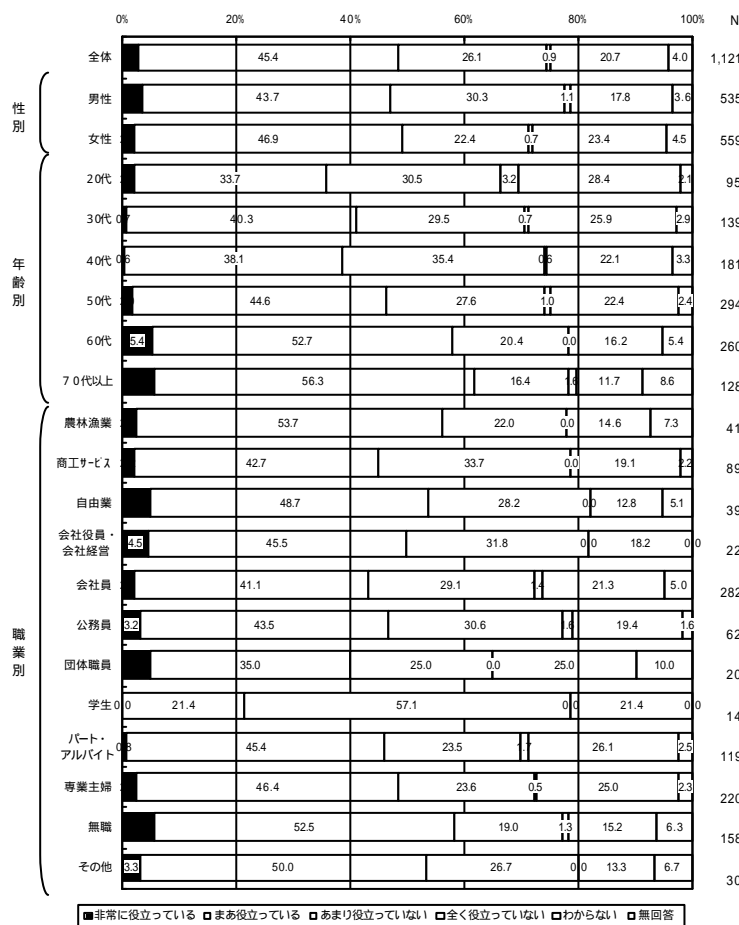
個人の環境を意識した行動は環境問題の解決に「役立つ」とする人が半数近くを占めており、個々人の行動であってもその果たす役割は大きいとみている。とりわけ 60 代以上の高年層でそうした意識が強い傾向にある。

環境に対して良い行動を行っている人（全体の 62%）は、その行動が環境問題の解決にどの程度役立っているかとみているのであろうか。結果は、「非常に役立っている」（3%）と「まあ役立っている」（45%）を合計した「役立っている」が 48%と半数に迫っていることから、個人個人の行動であっても環境問題の解決に果す役割は大きいと考えているといえる。

性別による差はほとんどないが、年齢別にみると、「役立っている」の比率は概ね高年層ほど高く、60代で 58%、70代以上で 62%にのぼる。

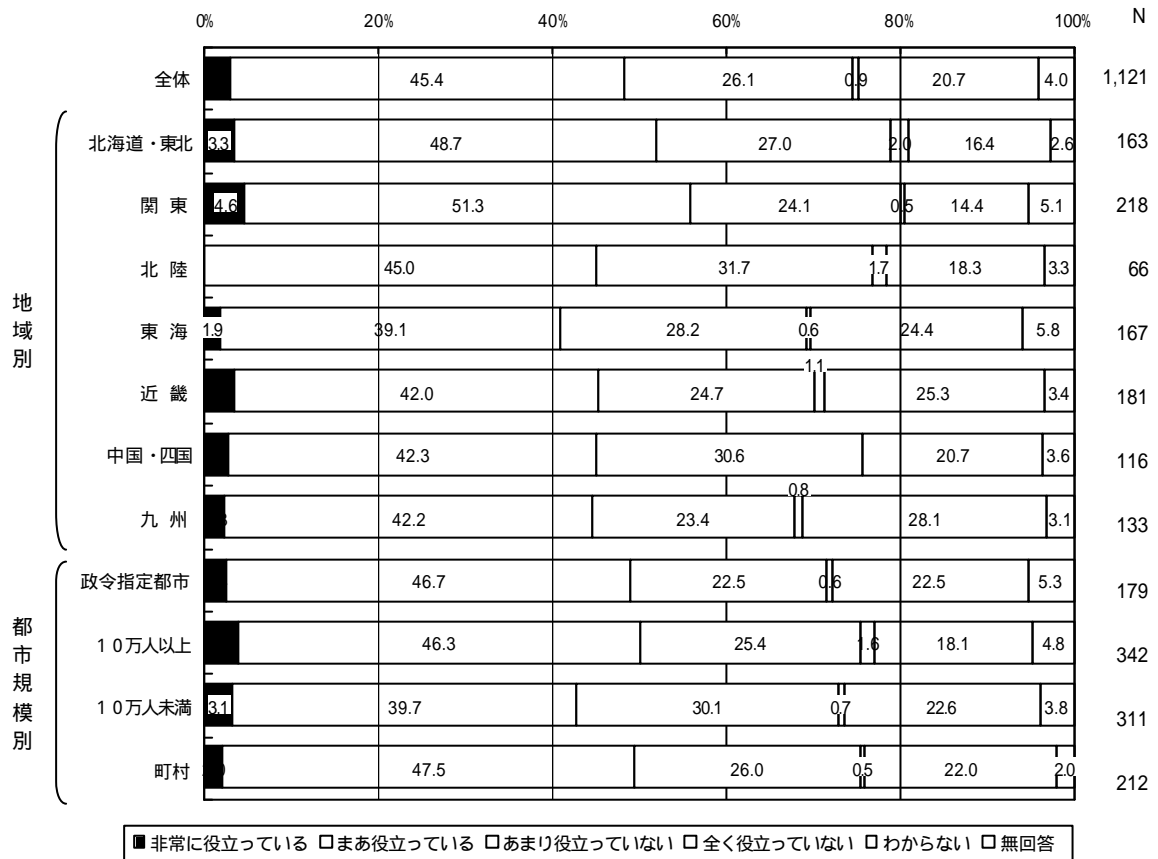
職業別にみると、無職（58%）、農林漁業（56%）、自由業（54%）、会社役員・会社経営は「役立っている」が過半数を占めるが、学生の「役立っている」は 21%と低く、個人の行動では限界があるとみている様子がうかがえる。

【図表 5-2-1】環境に対する良い行動の有用性（性別、年齢別、職業別）



地域別にみると「役立っている」の比率は関東で56%と高いが、東海では41%と低い。
 都市規模別では、10万人未満の都市で「役立っている」の比率が43%とやや低い。

【図表 5-2-2】環境に対する良い行動の有用性（地域別、都市規模別）



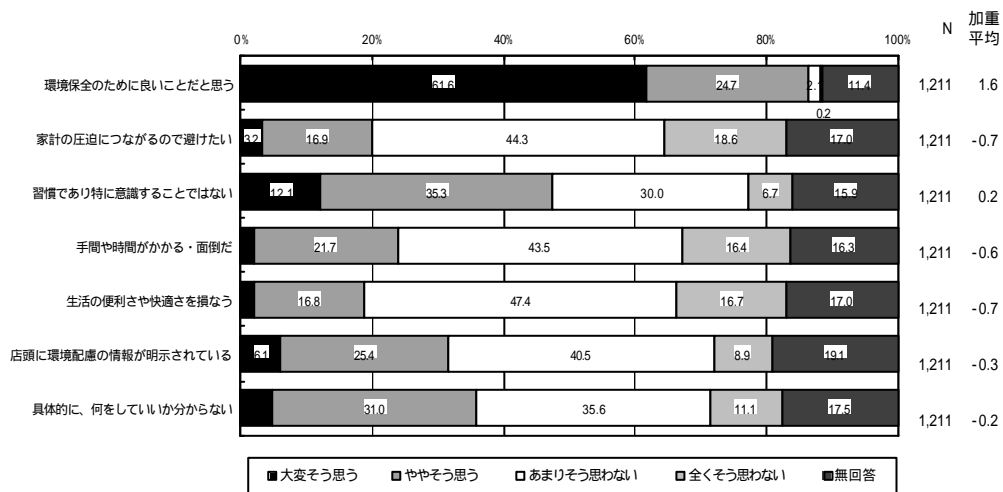
5 - 3 日常生活における環境への配慮意識

(1) 物を買うとき

買物行動での環境への配慮は既に生活習慣化しつつあり、半数近くが自分が何をすべきかを理解している。また、家計の圧迫、手間や時間、生活の便利さや快適さを犠牲にしても環境への配慮が重要だとする姿勢もうかがえる。

物を買うときの環境の配慮については「環境保全のために良いことだと思う」の肯定率（「大変そう思う」と「ややそう思う」の合計）が86%にのぼる。また、「習慣であり特に意識することではない」の肯定率も47%を占める。また、「家計の圧迫につながるのを避けたい」「手間や時間がかかる面倒だ」「生活の便利さや快適さを損なう」は否定率が60～64%と高く、家計の圧迫、手間や時間、生活の便利さや快適さを犠牲にしても環境の配慮が重要だとする姿勢がうかがえる。さらに「具体的に、何をしてもいいかわからない」の否定率も47%を占め、半数近くが買物行動での環境配慮として自分が何をすべきかを理解している状況にある。しかし、「店頭で環境配慮の情報が明示されている」の肯定率は32%にとどまっているという課題もある。

【図表 5-3-1】物を買うときの環境への配慮意識（全体）



注) この項の加重平均は、「大変そう思う」に2点、「ややそう思う」に1点、「あまりそう思わない」に-1点、「全くそう思わない」に-2点を与えて算出した。

性別にみると、女性は男性に比べ「習慣であり特に意識することではない」の肯定率、「時間がかかる・面倒だ」の否定率が高い。これに対し、男性は女性よりも「店頭で環境配慮の情報が明示されている」の否定率が高い。

年齢別では、若年層ほど「環境保全のためには良いことだと思う」という意識が強い傾向にある。また、20代、40代は「家計の圧迫につながるのを避けたい」の否定率が76%、73%と特に高くなっている。

職業別にみると、「環境保全のためには良いことだと思う」の肯定率が学生、「家計の圧迫につながるのを避けたい」の否定率が学生、「手間や時間がかかる・面倒だ」「店頭で環境配慮の情報が明示されていない」の否定率が会社役員・会社経営で全体よりも10ポイント以上高い。

【図表 5-3-2】物を買うときの環境への配慮意識（性別、年齢別、職業別）
（「大変そう思う」と「ややそう思う」の合計）

単位：%

	性別			年齢別							職業別										
	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	農林漁業	商工サービス	自由業	会社役員・会社経営	会社員	公務員	団体職員	学生	パート・アルバイト	専業主婦	無職	その他
調査数(N)	1,211	574	608	104	151	188	307	284	152	43	99	41	25	299	65	20	15	125	232	183	36
環境保全のために良いことだと思う	86.3	85.2	87.5	93.2	92.7	89.9	87.9	81.4	75.6	83.7	81.8	85.4	88.0	89.3	84.6	90.0	100.0	89.6	84.5	85.2	83.3
家計の圧迫につながるのを避けたい	20.1	21.1	19.6	20.2	24.5	18.6	21.2	20.0	16.4	16.3	20.2	22.0	24.0	21.1	18.4	15.0	6.7	24.8	19.0	19.1	25.0
習慣であり特に意識することではない	47.4	40.8	54.2	46.2	51.6	47.3	49.8	50.7	34.3	39.5	45.5	39.0	56.0	44.5	40.0	45.0	40.0	52.0	55.6	49.2	41.7
手間や時間がかかる・面倒だ	23.8	27.0	20.8	30.8	24.5	30.4	23.1	19.0	19.8	23.3	29.3	21.9	20.0	26.7	36.9	20.0	33.4	21.6	17.2	22.4	19.5
生活の便利さや快適さを損なう	18.9	20.6	17.6	24.0	23.8	22.9	17.9	15.9	13.8	7.0	23.2	17.1	16.0	20.4	27.7	10.0	33.3	19.2	16.4	18.0	19.5
店頭で環境配慮の情報が明示されている	31.5	29.1	34.1	46.1	41.1	33.0	30.3	30.6	15.1	16.3	28.3	24.4	28.0	34.1	26.2	35.0	60.0	38.4	35.8	24.1	36.2
具体的に、何をしたいかわからない	35.9	37.2	34.5	49.1	37.7	47.3	32.3	29.2	29.6	25.6	35.4	31.7	48.0	38.1	32.4	30.0	46.7	44.0	32.3	35.5	27.7

（「そう思わない」と「全くそう思わない」の合計）

単位：%

	性別			年齢別							職業別										
	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	農林漁業	商工サービス	自由業	会社役員・会社経営	会社員	公務員	団体職員	学生	パート・アルバイト	専業主婦	無職	その他
調査数(N)	1,211	574	608	104	151	188	307	284	152	43	99	41	25	299	65	20	15	125	232	183	36
環境保全のために良いことだと思う	23	3.1	1.7	29	2.0	3.2	1.6	25	2.6	-	5.1	2.4	4.0	3.3	3.1	-	-	0.8	2.6	1.0	-
家計の圧迫につながるのを避けたい	62.9	62.4	63.7	76.0	68.8	73.4	65.2	55.6	44.1	51.2	61.6	65.9	68.0	69.2	66.1	70.0	93.3	60.0	62.0	56.8	52.8
習慣であり特に意識することではない	36.7	43.2	30.3	49.0	41.7	45.2	38.1	26.0	28.3	30.3	37.4	43.9	36.0	45.8	44.6	40.0	60.0	32.8	28.5	28.5	38.9
手間や時間がかかる・面倒だ	59.9	56.8	63.4	65.4	68.9	61.7	65.2	56.7	41.4	46.6	53.5	61.0	76.0	64.2	47.7	65.0	66.7	63.2	65.1	54.1	58.3
生活の便利さや快適さを損なう	64.1	62.9	65.3	72.1	68.9	69.1	68.8	58.8	47.4	62.8	57.6	65.8	72.0	70.6	56.9	75.0	66.7	63.2	65.1	58.4	58.3
店頭で環境配慮の情報が明示されている	49.4	53.1	46.2	50.0	51.6	59.0	53.1	41.6	42.1	46.5	51.5	56.1	64.0	55.8	58.4	50.0	40.0	41.6	42.7	49.7	38.9
具体的に、何をしたいかわからない	46.7	46.0	47.8	47.1	55.0	44.6	53.4	45.4	30.3	41.8	45.5	51.3	44.0	52.8	50.8	55.0	53.4	40.8	45.7	41.5	50.0

地域別には、顕著な特徴は見られないが、都市規模別では10万人以上の都市で「習慣であり特に意識することはない」の肯定率がやや高くなっている。

【図表 5-3-3】物を買うときの環境への配慮意識（地域別、都市規模別）
（「大変そう思う」と「ややそう思う」の合計）

単位 :%

	全体	地域別							都市規模別			
		北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州	政令指定都市	10万人以上	10万人未満	町村
調査数 (N)	1,211	163	218	66	167	181	116	133	179	342	311	212
環境保全のために良いことだと思う	86.3	84.6	84.4	90.9	88.1	85.6	84.5	90.2	83.8	87.1	86.8	86.8
家計の圧迫につながるのを避けたい	20.1	22.7	18.8	21.2	22.2	18.8	16.4	23.3	17.3	20.8	22.8	18.9
習慣であり特に意識することではない	47.4	46.6	49.6	44.0	48.5	46.9	51.7	48.1	47.5	52.9	45.7	44.8
手間や時間がかかる 面倒だ	23.8	22.7	20.2	30.3	25.2	22.1	31.9	24.1	21.8	27.2	23.1	22.7
生活の便利さや快適さを損なう	18.9	16.5	17.9	21.2	23.4	17.2	19.8	21.8	17.8	23.4	18.4	15.6
店頭で環境配慮の情報が明示されている	31.5	27.0	28.0	39.3	37.1	31.0	35.3	32.3	29.6	34.8	32.4	28.3
具体的に、何をしているかわからない	35.9	33.7	35.4	39.4	37.7	35.4	37.1	34.6	33.5	38.3	32.8	38.2

（「そう思わない」と「全くそう思わない」の合計）

単位 :%

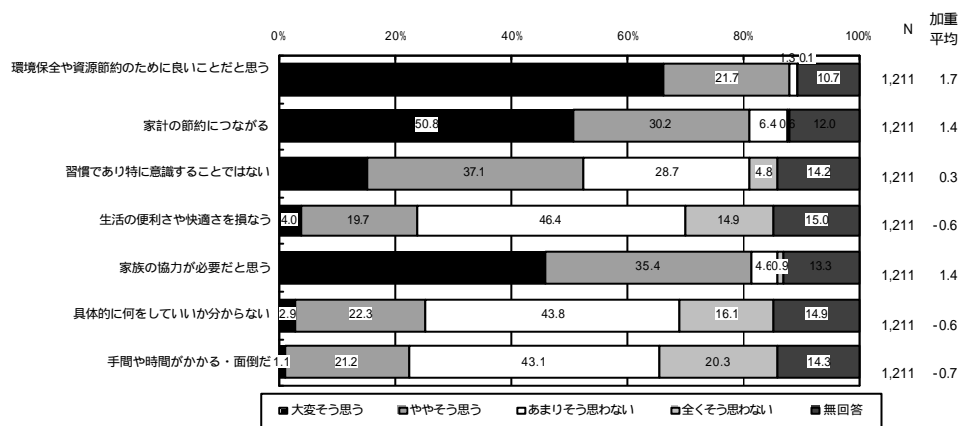
	全体	地域別							都市規模別			
		北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州	政令指定都市	10万人以上	10万人未満	町村
調査数 (N)	1,211	163	218	66	167	181	116	133	179	342	311	212
環境保全のために良いことだと思う	2.3	1.8	1.4	1.5	1.8	3.3	6.1	1.5	5.0	1.8	1.3	2.8
家計の圧迫につながるのを避けたい	62.9	61.3	61.0	62.1	62.3	65.2	67.2	61.6	67.0	63.1	59.4	63.7
習慣であり特に意識することではない	36.7	38.1	31.6	40.9	38.3	37.5	34.5	35.3	36.8	32.1	37.3	40.1
手間や時間がかかる 面倒だ	59.9	61.4	60.1	53.0	60.5	61.8	53.5	61.7	62.0	57.3	59.8	61.3
生活の便利さや快適さを損なう	64.1	66.2	62.4	62.2	60.5	65.8	65.5	63.2	65.9	60.8	62.7	67.9
店頭で環境配慮の情報が明示されている	49.4	52.7	50.9	39.4	47.3	49.7	48.2	49.6	52.5	47.3	46.9	52.9
具体的に、何をしているかわからない	46.7	48.4	45.0	44.0	46.7	46.9	47.4	49.6	49.2	45.4	48.9	44.8

(2) 省エネルギー

省エネルギーは既に5割で習慣化しており、6割が「自分が何をすべきかを理解している。また、家計の節約にもつながるため、手間や時間、生活の便利さや快適さを損なうこともいとわないが、その実現のためにはどうしても家族の協力が必要だ」という意識が強い。

省エネルギーについては「環境保全や資源節約のために良いことだと思う」の肯定率(「大変そう思う」と「ややそう思う」の合計、88%)だけでなく、「家計の節約につながる」の肯定率(81%)も8割台にのぼる。また、「習慣であり特に意識することではない」の肯定率も52%、「手間や時間がかかる・面倒だ」「生活の便利さや快適さを損なう」「具体的に何をすればいいかわからない」の否定率も60%前後(63%、61%、60%)を占めている。また、こうしたことの実現には「家族の協力が必要だと思う」(81%)という意識が強く表れている。

【図表 5-3-4】省エネルギーにおける意識(全体)



注) この項の加重平均は、「大変そう思う」に2点、「ややそう思う」に1点、「あまりそう思わない」に-1点、「全くそう思わない」に-2点を与えて算出した。

性別にみると、女性は男性よりも「習慣であり特に意識することではない」の肯定率が高い。

年齢別では、若年層ほど「環境保全や資源節約のために良いことだと思う」「家計の節約につながる」「家族の協力が必要」の肯定率、「生活の便利さや快適さを損なう」の否定率が高い傾向にあるほか、30代で「具体的に何をしたいかわからない」の否定率も高い。

職業別では、「環境保全や資源節約のために良いことだと思う」「家計の節約につながる」「家族の協力が必要」の肯定率が学生で100%に達しているほか、専業主婦で「習慣であり特に意識することではない」の肯定率、学生で「具体的に何をしたいかわからない」の否定率が高い。

【図表 5-3-5】省エネルギーにおける意識（性別、年齢別、職業別）
（「大変そう思う」と「ややそう思う」の合計）

単位：%

	性別			年齢別							職業別										
	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	農林漁業	商工サービス	自由業	会社役員・会社経営	会社員	公務員	団体職員	学生	パート・アルバイト	専業主婦	無職	その他
調査数 (N)	1,211	574	608	104	151	188	307	284	152	43	99	41	25	299	65	20	15	125	232	183	36
環境保全や資源節約のために良いことだと思う	87.8	87.5	88.5	95.2	92.7	92.5	89.6	84.8	73.7	79.1	89.9	87.8	88.0	91.3	87.7	85.0	100.0	92.0	85.8	85.3	80.6
家計の節約につながる	81.0	78.9	83.7	95.2	88.1	88.3	85.3	76.4	57.2	72.1	84.8	80.5	80.0	88.3	75.4	80.0	100.0	85.6	83.6	68.9	69.4
習慣であり特に意識することではない	52.4	45.9	58.6	53.8	51.7	51.0	56.4	55.6	38.8	41.9	53.5	53.7	44.0	48.1	52.3	35.0	40.0	55.2	62.5	49.2	58.4
生活の便利さや快適さを損なう	23.7	24.0	23.5	29.8	24.5	27.1	25.4	22.2	13.8	18.7	32.3	36.6	28.0	24.0	29.2	20.0	40.0	25.6	21.1	16.9	16.7
家族の協力が必要だと思う	81.1	80.8	82.0	96.2	92.1	91.5	83.4	73.3	59.3	72.1	81.8	85.3	80.0	87.0	81.5	80.0	100.0	87.2	80.1	72.2	75.0
具体的に何をしたいかわからない	25.2	24.2	26.0	29.8	19.9	36.7	23.1	23.3	19.7	30.2	30.3	24.4	32.0	24.4	18.5	25.0	26.7	34.4	20.7	24.0	19.5
手間や時間がかかる・面倒だ	22.3	22.5	22.2	36.6	25.9	25.0	23.1	17.2	13.2	20.9	30.3	19.5	16.0	24.1	30.8	20.0	53.4	23.2	20.3	14.8	13.9

（「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」の合計）

単位：%

	性別			年齢別							職業別										
	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	農林漁業	商工サービス	自由業	会社役員・会社経営	会社員	公務員	団体職員	学生	パート・アルバイト	専業主婦	無職	その他
調査数 (N)	1,211	574	608	104	151	188	307	284	152	43	99	41	25	299	65	20	15	125	232	183	36
環境保全や資源節約のために良いことだと思う	1.4	1.7	1.2	2.9	2.0	1.6	2.0	0.4	0.7	2.3	1.0	2.4	-	3.0	1.5	-	-	1.6	0.8	-	-
家計の節約につながる	7.0	8.9	4.9	2.9	6.0	6.4	6.5	7.4	10.5	4.7	6.1	9.8	8.0	4.7	10.8	5.0	-	7.2	3.4	13.7	8.4
習慣であり特に意識することではない	33.5	40.2	27.3	44.2	41.1	43.1	33.5	24.3	24.4	30.2	34.3	34.1	44.0	43.9	33.8	40.0	60.0	34.4	22.0	29.5	22.3
生活の便利さや快適さを損なう	61.3	61.5	61.2	68.2	68.3	67.0	64.5	56.0	46.0	53.5	53.5	51.3	60.0	68.3	55.4	60.0	60.0	64.0	61.6	60.1	58.3
家族の協力が必要だと思う	5.5	5.7	5.1	2.0	1.3	3.2	6.5	9.5	5.3	4.7	5.1	2.4	8.0	4.7	4.6	5.0	-	4.8	5.6	8.7	5.6
具体的に何をしたいかわからない	59.9	61.7	58.7	68.3	74.2	57.4	65.5	56.4	40.1	41.9	54.5	60.9	56.0	67.3	67.7	60.0	73.3	56.0	61.7	54.7	58.4
手間や時間がかかる・面倒だ	63.4	64.0	63.3	61.5	68.2	69.7	67.1	62.7	47.4	51.1	57.6	65.9	72.0	68.3	55.4	65.0	46.6	68.0	63.8	63.4	61.1

地域別では、近畿で「家計の節約につながる」の肯定率、九州で「手間や時間がかかる・面倒だ」の否定率がやや高い。

都市規模別には顕著な特徴はない。

【図表 5-3-6】省エネルギーにおける意識（地域別、都市規模別）
（「大変そう思う」と「ややそう思う」の合計）

単位：％

	全体	地域別							都市規模別			
		北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州	政令指定都市	10万人以上	10万人未満	町村
調査数 (N)	1,211	163	218	66	167	181	116	133	179	342	311	212
環境保全や資源節約のために良いことだと思う	87.8	87.1	88.5	86.4	89.3	86.2	88.0	89.5	88.8	86.3	89.4	87.8
家計の節約につながる	81.0	79.2	80.7	83.3	80.8	86.2	78.4	82.0	84.9	81.9	82.0	77.3
習慣であり特に意識することではない	52.4	52.8	52.3	50.0	50.9	54.7	50.9	57.1	53.1	51.4	55.6	50.9
生活の便利さや快適さを損なう	23.7	21.5	28.9	16.7	27.0	26.0	22.4	21.8	25.1	23.7	26.0	23.1
家族の協力が必要だと思う	81.1	80.4	79.8	77.2	82.6	83.5	81.9	80.4	81.5	79.9	81.7	82.1
具体的に何をしたいかわからない	25.2	27.0	23.4	27.2	28.7	27.6	25.0	21.1	25.1	26.6	23.8	27.4
手間や時間がかかる 面倒だ	22.3	22.7	21.5	28.8	22.8	22.7	25.9	18.8	23.5	23.4	21.2	23.1

（「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」の合計）

単位：％

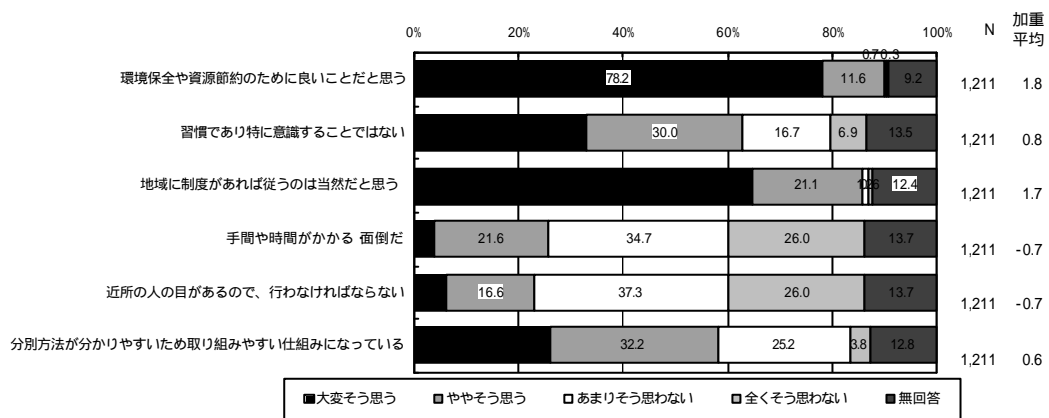
	全体	地域別							都市規模別			
		北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州	政令指定都市	10万人以上	10万人未満	町村
調査数 (N)	1,211	163	218	66	167	181	116	133	179	342	311	212
環境保全や資源節約のために良いことだと思う	1.4	1.2	0.5	1.5	1.8	1.7	1.7	0.8	1.7	0.9	1.0	1.9
家計の節約につながる	7.0	9.2	6.4	6.0	9.0	3.9	7.8	6.8	3.9	5.6	6.4	12.7
習慣であり特に意識することではない	33.5	33.1	31.1	33.3	38.9	32.0	35.4	28.6	33.5	33.4	30.9	35.8
生活の便利さや快適さを損なう	61.3	65.0	53.6	63.6	61.7	58.6	63.0	65.4	60.9	60.2	60.1	62.3
家族の協力が必要だと思う	5.5	6.2	5.9	6.0	6.6	3.9	5.2	6.8	3.4	6.8	6.1	5.6
具体的に何をしたいかわからない	59.9	60.1	60.1	54.5	59.9	58.5	60.4	61.6	60.9	57.6	61.5	59.5
手間や時間がかかる 面倒だ	63.4	63.8	63.3	53.0	65.9	64.1	59.4	68.4	62.6	62.2	64.6	64.6

(3) ゴミの処理

家庭の様々なゴミやリサイクル可能なものを地域のルールに沿って出すことについては、分別方法が分かりやすく、取り組みやすい仕組みになっているとの評価が高く、6割強が既に習慣化している。また、こうした処理をすることは環境保全や資源節約のために良いという意識が強く、近所の人目があるということではなく自主的かつ、時間や手間を惜しむことなく行われている。さらに地域に制度があれば従うとの意識もきわめて強い。

家庭の様々なゴミやリサイクル可能なものを地域のルールに沿って分別して出すことについては、「環境保全や資源節約のために良いことだと思う」「地域に制度があれば従うのは当然だと思う」の肯定率(「大変そう思う」と「ややそう思う」の合計)が9割近く(90%、86%)にのぼった。また、「習慣であり特に意識することではない」「分別方法が分かりやすいため、取り組みやすい仕組みになっている」の肯定率(63%、58%)も6割前後、「時間や手間がかかる・面倒だ」「近所の人目があるので、行わなければならない」の否定率(61%、63%)も6割台を占めている。

【図表 5-3-7】 ゴミの処理での意識 (全体)



注) この項の加重平均は、「大変そう思う」に2点、「ややそう思う」に1点、「あまりそう思わない」に-1点、「全くそう思わない」に-2点を与えて算出した。

性別にみると、女性は男性に比べ「習慣であり特に意識することはない」「分別方法がわかりやすいため、取り組みやすい仕組みになっている」の肯定率が高い。

年齢別では、20代、30代、40代で「地域に制度があれば従うのは当然だと思う」、50代で「習慣であり特に意識することではない」、50代、60代で「分別方法がわかりやすいため取り組みやすい仕組みになっている」の肯定率がやや高く、50代で「手間や時間がかかる」「近所の人目があるので、行わなければならない」の否定率がやや高い。

職業別では、商工サービスで「習慣であり特に意識することではない」、学生で「地域に制度があれば従うのは当然だと思う」、専業主婦で「分別方法がわかりやすいため、取り組みやすい仕組みになっている」の肯定率が高く、会社役員・会社経営で「手間や時間がかかる・面倒だ」「近所の人目があるので、行わなければならない」の否定率が高い。

【図 5-3-8】ゴミの処理での意識（性別、年齢別、職業別）
（「大変そう思う」と「ややそう思う」の合計）

単位：%

	性別			年齢別							職業別										
	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	農林漁業	商工サービス	自由業	会社役員・会社経営	会社員	公務員	団体職員	学生	パート・アルバイト	専業主婦	無職	その他
調査数 (N)	1,211	574	608	104	151	188	307	284	152	43	99	41	25	299	65	20	15	125	232	183	36
環境保全や資源節約のために良いことだと思う	89.8	89.2	90.7	96.1	94.0	94.7	91.9	86.3	77.6	88.4	90.9	92.7	92.0	93.0	86.2	90.0	93.4	95.2	88.4	86.9	77.8
習慣であり特に意識することではない	62.9	59.2	67.4	59.6	66.2	65.9	73.7	59.2	46.1	62.8	73.7	53.7	64.0	64.2	58.5	45.0	46.7	66.4	70.6	55.8	50.0
地域に制度があれば従うのは当然だと思う	85.9	84.3	87.7	93.2	92.1	95.2	88.6	82.8	63.8	74.4	85.9	78.0	92.0	90.0	86.1	85.0	100.0	89.6	88.8	77.1	83.3
手間や時間がかかる・面倒だ	25.6	27.2	24.5	40.4	35.1	33.5	23.2	18.0	16.5	23.3	32.3	29.2	16.0	31.1	29.3	25.0	46.6	30.4	21.1	15.3	19.4
近所の人目があるので、行わなければならない	23.0	22.2	23.7	51.0	33.8	30.3	18.3	15.2	7.8	21.0	19.2	34.1	16.0	27.8	23.1	25.0	53.3	28.8	20.7	12.1	25.0
分別方法がわかりやすいため、取り組みやすい仕組みになっている	58.2	53.8	62.2	51.0	50.3	62.2	59.9	62.3	52.6	51.1	57.5	51.3	56.0	53.5	49.2	55.0	40.0	62.4	69.4	56.8	58.3

（「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」の合計）

単位：%

	性別			年齢別							職業別										
	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	農林漁業	商工サービス	自由業	会社役員・会社経営	会社員	公務員	団体職員	学生	パート・アルバイト	専業主婦	無職	その他
調査数 (N)	1,211	574	608	104	151	188	307	284	152	43	99	41	25	299	65	20	15	125	232	183	36
環境保全や資源節約のために良いことだと思う	1.0	1.2	1.0	2.0	0.7	0.5	1.0	1.5	1.4	-	-	-	-	1.6	3.1	-	6.7	-	0.9	1.6	-
習慣であり特に意識することではない	23.6	27.8	18.9	38.5	27.9	29.2	17.3	21.1	17.8	18.6	13.1	31.8	28.0	28.1	27.7	40.0	53.4	24.0	14.2	25.1	25.0
地域に制度があれば従うのは当然だと思う	1.8	2.6	1.0	4.8	2.0	-	2.0	1.4	2.0	2.3	2.0	7.3	-	2.3	-	-	-	2.4	-	2.7	-
手間や時間がかかる・面倒だ	60.7	59.7	61.7	57.7	59.0	61.7	67.1	62.7	46.7	51.1	54.5	56.1	76.0	61.6	56.9	60.0	53.4	60.8	63.8	63.9	58.3
近所の人目があるので、行わなければならない	63.3	64.2	63.0	47.1	60.2	64.4	72.3	65.9	54.6	53.5	67.7	51.3	76.0	64.9	63.1	60.0	46.7	60.8	64.7	67.7	52.8
分別方法がわかりやすいため、取り組みやすい仕組みになっている	29.0	33.6	25.3	47.1	43.7	33.0	30.6	20.4	13.2	25.6	30.3	34.2	36.0	39.2	36.9	30.0	60.0	29.6	16.4	25.7	19.5

地域別では、北海道・東北で「習慣であり特に意識することではない」、東海で「分別方法がわかりやすいため、取り組みやすい仕組みになっている」の肯定率がやや高く、関東で「近所の人目があるので、行わなければならない」の否定率がやや高い。

都市規模別では、10万人未満の都市で「習慣であり特に意識することではない」の肯定率がやや高く、町村部で「手間や時間がかかる・面倒だ」の否定率がやや高い。

【図 5-3-9】ゴミの処理での意識（地域別、都市規模別）
（「大変そう思う」と「ややそう思う」の合計）

単位：%

	全体	地域別							都市規模別			
		北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州	政令指定都市	10万人以上	10万人未満	町村
調査数 (N)	1,211	163	218	66	167	181	116	133	179	342	311	212
環境保全や資源節約のために良いことだと思う	89.8	89.6	89.0	90.9	93.4	88.4	89.6	90.2	89.4	89.2	90.7	91.0
習慣であり特に意識することではない	62.9	69.4	66.1	59.1	61.6	64.7	58.6	66.9	63.7	62.3	68.1	63.2
地域に制度があれば従うのは当然だと思う	85.9	84.7	85.3	81.9	88.1	88.4	87.9	84.2	88.8	84.2	85.5	87.8
手間や時間がかかる 面倒だ	25.6	27.6	24.8	25.8	27.6	25.9	25.8	23.3	26.8	26.3	28.3	20.8
近所の人目があるので、行わなければならない	23.0	23.9	16.0	22.7	24.6	25.9	26.8	20.3	25.1	22.2	20.9	23.1
分別方法がわかりやすいため、取り組みやすい仕組みになっている	58.2	60.7	53.2	62.1	65.9	54.7	56.0	59.4	62.6	57.0	59.1	55.6

（「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」の合計）

単位：%

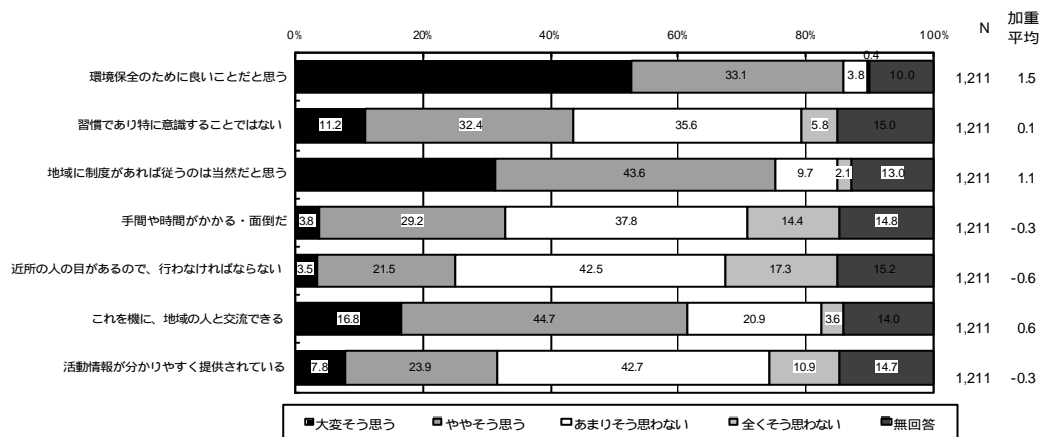
	全体	地域別							都市規模別			
		北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州	政令指定都市	10万人以上	10万人未満	町村
調査数 (N)	1,211	163	218	66	167	181	116	133	179	342	311	212
環境保全や資源節約のために良いことだと思う	1.0	0.6	1.0	1.5	1.2	0.6	0.9	2.3	1.7	0.6	1.0	1.4
習慣であり特に意識することではない	23.6	19.0	19.2	27.3	28.2	21.5	25.0	20.3	22.9	23.7	19.0	24.5
地域に制度があれば従うのは当然だと思う	1.8	3.0	2.7	3.0	0.6	1.2	-	3.1	1.2	1.2	1.9	3.8
手間や時間がかかる 面倒だ	60.7	60.1	61.0	56.1	61.6	60.2	59.5	64.6	59.8	59.4	58.2	68.0
近所の人目があるので、行わなければならない	63.3	63.8	68.3	60.6	65.2	61.3	57.8	67.6	61.5	63.7	65.3	65.5
分別方法がわかりやすいため、取り組みやすい仕組みになっている	29.0	28.2	33.5	22.7	24.0	32.0	29.3	29.4	25.2	29.5	28.6	33.1

(4) 地域活動への参加

地域の美化活動や緑化活動に参加することについては、「環境保全のために良いこと」「地域に制度があれば従うのは当然」という意識や「これを機に地域の人と交流できる」という期待も高い。また、手間や時間を惜しむ気持ちや義務的な参加意識も弱い。しかし、わかりやすい情報の提供が少なく、まだ習慣化するには至っていない。

地域の美化活動や緑化活動に参加することについては、「環境保全のために良いことだと思う」の肯定率（「大変そう思う」と「ややそう思う」の合計）が86%にのぼる。また、「地域に制度があれば従うのは当然だと思う」という意識や「これを機に、地域の人と交流できる」という期待も高く、その肯定率は75%、62%を示している。さらに、こうした運動への参加は「手間や時間がかかる・面倒だ」「近所の人目があるので、行わなければならない」の否定率（52%、60%）も5割を超えており、手間や時間を惜しむ気持ちや義務感も少ない。しかし、「習慣であり特に意識することではない」は肯定・否定が拮抗し、「活動情報が分かりやすく提供されている」は否定率が54%を占めており、地域活動の活性化のためには、活動情報を分かりやすく提供しその定着化を図る必要がある。

【図表 5-3-10】地域活動への参加意識（全体）



注) この項の加重平均は、「大変そう思う」に2点、「ややそう思う」に1点、「あまりそう思わない」に-1点、「全くそう思わない」に-2点を与えて算出した。

性別にみると、男性は女性より「近所の人の目があるので、行わなければならない」の否定率がやや高い。

年齢別では若年層ほど「活動状況がわかりやすく提供されている」の否定率が高い。また、20代で「環境保全のために良いことだと思う」、50代、60代で「習慣であり特に意識することはない」、30代、40代で「地域に制度があれば従うのは当然だと思う」の肯定率がやや高く、50代で「手間や時間がかかる」「近所の人の目があるので行わなければならない」の否定率が高い

職業別では、学生で「環境保全のために良いことだと思う」、商工サービス、会社役員・会社経営で「習慣であり特に意識することではない」、団体職員で「地域に制度があれば従うのは当然だと思う」の肯定率が高く、会社役員・会社経営で「手間や時間がかかる・面倒だ」、商工サービス、会社役員・会社経営で「近所の人の目があるので行わなければならない」、会社役員・会社経営、会社員、学生で「活動状況が分かりやすく提供されている」の否定率が高い。

【図表 5-3-11】地域活動への参加意識（性別、年齢別、職業別）
（「大変そう思う」と「ややそう思う」の合計）

	性別		年齢別							職業別											
	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	農林漁業	商工サービス	自由業	会社役員・会社経営	会社員	公務員	団体職員	学生	パート・アルバイト	専業主婦	無職	その他
調査数 (N)	1,211	574	608	104	151	188	307	284	152	43	99	41	25	299	65	20	15	125	232	183	36
環境保全のために良いことだと思う	85.8	85.9	86.0	91.3	88.7	89.8	88.2	83.1	74.3	83.7	86.9	85.4	84.0	86.9	86.2	85.0	100.0	89.6	83.6	85.2	86.1
習慣であり特に意識することではない	43.6	41.4	46.5	33.6	34.5	44.7	48.9	50.0	38.2	44.2	53.5	46.3	56.0	40.5	35.4	30.0	13.3	45.6	47.8	43.2	50.0
地域に制度があれば従うのは当然だと思う	75.1	74.5	76.0	74.0	80.1	80.3	79.2	74.6	58.5	69.8	77.8	70.7	72.0	76.2	72.3	90.0	80.0	82.4	74.1	70.5	83.3
手間や時間がかかる・面倒だ	33.0	33.8	32.7	60.5	51.0	41.5	30.6	20.4	15.8	27.9	38.4	36.6	24.0	38.5	46.2	35.0	66.7	33.6	29.7	21.3	30.6
近所の人の目があるので、行わなければならない	25.0	23.0	27.2	51.0	37.1	33.0	19.5	17.6	11.2	14.0	20.2	41.4	16.0	27.1	40.0	40.0	73.4	24.8	22.0	17.0	33.3
これを機に、地域の人と交流できる	61.5	61.2	62.7	63.5	65.6	63.3	65.1	63.7	45.4	62.8	62.6	60.9	56.0	62.6	67.6	70.0	66.7	63.2	65.1	56.8	50.0
活動情報が分かりやすく提供されている	31.7	30.9	32.5	20.2	24.5	27.6	34.2	39.1	32.2	37.2	33.3	36.6	24.0	26.5	30.8	25.0	20.0	30.4	34.9	34.4	47.2

（「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」の合計）

	性別		年齢別							職業別											
	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	農林漁業	商工サービス	自由業	会社役員・会社経営	会社員	公務員	団体職員	学生	パート・アルバイト	専業主婦	無職	その他
調査数 (N)	1,211	574	608	104	151	188	307	284	152	43	99	41	25	299	65	20	15	125	232	183	36
環境保全のために良いことだと思う	4.2	4.2	4.2	4.8	5.3	5.3	3.2	3.6	4.6	-	7.1	2.4	4.0	5.4	4.6	-	-	4.0	4.3	3.3	2.8
習慣であり特に意識することではない	41.4	45.3	37.5	62.5	59.0	50.5	39.7	29.2	23.7	32.5	34.3	39.0	32.0	50.5	52.3	55.0	86.6	43.2	33.6	35.5	33.4
地域に制度があれば従うのは当然だと思う	11.8	13.9	10.0	22.1	13.9	14.9	11.4	7.1	9.9	9.4	12.1	12.2	16.0	15.7	15.4	-	20.0	9.6	9.5	11.5	2.8
手間や時間がかかる・面倒だ	52.2	52.8	51.8	35.6	43.1	53.8	59.0	58.4	45.4	46.6	52.5	46.3	64.0	52.2	41.6	50.0	33.4	55.2	52.6	57.4	52.8
近所の人の目があるので、行わなければならない	59.8	63.4	56.8	45.2	55.7	61.7	70.3	61.0	49.3	60.4	69.7	41.5	72.0	63.9	47.6	45.0	26.7	63.2	58.6	61.8	50.0
これを機に、地域の人と交流できる	24.5	26.0	22.9	31.7	28.5	31.9	24.7	17.2	18.4	14.0	29.3	19.5	32.0	28.4	20.0	15.0	33.3	28.0	18.5	23.5	30.6
活動情報が分かりやすく提供されている	53.6	55.9	52.0	76.0	69.5	67.1	55.4	40.5	28.9	37.2	53.5	46.3	64.0	64.9	56.9	60.0	80.0	59.2	47.9	44.8	36.2

地域別では、北陸で「これを機に、地域の人と交流できる」の肯定率が高い。

都市規模別では、町村部で「環境保全のために良いことだと思う」の肯定率、「手間や時間がかかる・面倒だ」「活動状況が分かりやすく提供されている」の否定率がやや高くなっている。

【図表 5-3-12】地域活動への参加意識（地域別、都市規模別）
（「大変そう思う」と「ややそう思う」の合計）

単位：%

	全体	地域別							都市規模別			
		北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州	政令指定都市	10万人以上	10万人未満	町村
調査数 (N)	1,211	163	218	66	167	181	116	133	179	342	311	212
環境保全のために良いことだと思う	85.8	87.1	84.8	90.9	86.8	84.5	83.7	91.0	86.6	84.8	85.2	91.0
習慣であり特に意識することではない	43.6	50.3	46.8	44.0	44.9	40.4	45.7	39.9	41.9	44.7	47.6	42.9
地域に制度があれば従うのは当然だと思う	75.1	76.7	71.6	72.7	80.2	77.9	73.2	76.0	74.9	74.3	75.9	78.3
手間や時間がかかる 面倒だ	33.0	35.0	31.7	31.8	32.3	35.4	37.9	33.9	39.7	33.9	33.1	30.2
近所の人目があるので、行わなければならない	25.0	30.1	22.9	21.3	29.4	22.1	25.0	23.3	29.6	25.4	22.5	24.5
これを機に、地域の人と交流できる	61.5	63.2	62.4	71.2	67.1	56.4	53.5	62.4	59.2	60.5	62.7	64.7
活動情報が分かりやすく提供されている	31.7	36.2	32.6	39.3	33.0	25.9	27.6	28.6	35.2	31.9	30.3	29.3

（「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」の合計）

単位：%

	全体	地域別							都市規模別			
		北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州	政令指定都市	10万人以上	10万人未満	町村
調査数 (N)	1,211	163	218	66	167	181	116	133	179	342	311	212
環境保全のために良いことだと思う	4.2	3.1	5.1	1.5	4.2	4.4	7.7	0.8	2.8	4.1	5.8	2.4
習慣であり特に意識することではない	41.4	36.8	34.9	40.9	42.5	44.7	39.7	48.2	42.4	38.3	39.6	44.8
地域に制度があれば従うのは当然だと思う	11.8	12.3	13.8	12.1	8.4	9.4	14.6	12.8	11.2	11.4	11.9	12.7
手間や時間がかかる 面倒だ	52.2	52.8	50.9	51.5	55.1	49.8	49.1	53.4	45.3	50.0	52.4	59.5
近所の人目があるので、行わなければならない	59.8	57.1	60.5	62.2	58.1	63.0	60.4	62.4	55.3	57.9	63.1	64.6
これを機に、地域の人と交流できる	24.5	24.0	24.3	12.1	19.8	28.8	33.6	25.6	26.3	24.0	24.1	25.4
活動情報が分かりやすく提供されている	53.6	51.5	51.8	43.9	53.9	58.6	58.7	59.4	49.7	52.1	55.9	60.3